

大島小 学校だより



島っ子だより

第19号 令和元年9月12日

文責 校長 藤瀬 安孝

避難訓練+保護者引き渡し



先日の台風15号は、関東地方を直撃し、多くの被害を残していきました。自然災害の多くは人の力では防ぎようのないもので、発生後に被害が最小限になるような備えが、学校に求められます。

昨日は、地震発生想定での避難訓練を行いました。発生直後に、机の下にもぐり、揺れが収まった後に、運動場へと集合しました。

徐々に炎や煙が襲ってくる火災と異なり、発生した瞬間から身の危険にさらされる恐れがある地震。揺れを感じた瞬間に、自分の身を守る行動をとる大切さを伝えました。火災発生時には、出火場所を確認し、放送や職員の指示をしっかりと聞き取ることが最初に必要なこととして指導をしています。

今回のように地震に対しては、指示を待ってはいけなく、自分で判断して行動に移すことを確認しました。発生の頻度が少ないだけで、可能性はゼロではありません。地震に対して警戒の意識が高い太平洋岸の地域同様に、災害へ備える気持ちだけは忘れないようにと子どもたちへも話しています。

西暦1700年(元禄13年)に平戸エリアでも震度5を記録する杵岐対馬地震というのが起きた歴史があります。備えあれば患いなし。「大丈夫だろう」ではなく、「起きるかもしれない」の気持ちを持ち続けたいものです。

この避難訓練に引き続く形で、大雨や放射能の被害を想定しての、保護者への引き渡しも行いました。引き渡し開始から約40分間で、すべての児童の引き渡しが終わりました。

お仕事の合間を縫ってのご協力、ありがとうございました。しばらくは台風が発生する季節です。ご家庭でも、災害への備えについて、この機会に話題にされてみてください。

夏休み作品展。本日終了



先週5日の授業参観へは、多数おいでいただき、ありがとうございました。その日から児童玄関ホールにて開催していました、夏休み作品展。43名分ですので、ホールに収まる規模でしたが、じっくり見てみると、コツコツと努力して作られた力作、子どもならではの素朴な視点でまとめ上げた研究、作るときから楽しみながら作業をしたのが想像されるような楽しい工作など、休み中の成果が多く

みられました。思いの詰まった作品は、夏の思い出の一つにもなることでしょう。

ほんわかクラブ読み聞かせ



定期的に読み聞かせをしていただいている「ほんわかクラブ」さん。いつもありがとうございます。

水曜朝の読み聞かせは、「かわいそうな象」のお話でした。戦時下で動物園がもし空襲があった際、檻や囲いが壊れ、逃げ出した動物たちが市民に危害を加えないように、苦渋の選択として園の職員が動物たちを死なせなければならなかった話です。悲しい話で、目を潤ませながら聞きました。戦争や災害のない

平穏な日々のありがたさを改めて感じた今日の読み聞かせでした。